

家族を守る・家族防災会議

災害は想定を超える被害を生み出す可能性を常に持っています。「これをしておけば大丈夫」というものはありません。将来起こりうる地震災害に備えて、過去の災害から学び、いろいろな状況を考え、身近な防災対策を積極的に行いましょう。

家族防災会議

なにをしたらいい？

予測困難な災害に対応するには、日頃からの家族同士の話し合いが大切です。例えば防災の日や、防災訓練のある日などに合わせて家族防災会議を開き、災害に備えましょう。

- ① 避難場所を確認しよう
- ② 避難場所まで歩いてみよう
- ③ 非常持ち出し品の準備・点検をしよう
- ④ 情報を集める方法を知っておこう



ハザードマップを

活用しよう

ハザードマップって？

蒲郡市ハザードマップは、地震などによる震度分布や津波、土砂災害や洪水による危険箇所、避難所などを示したマップです。自分の住んでいる地区の危険箇所や避難場所を確認できます。

■ 最新版は平成27年3月版

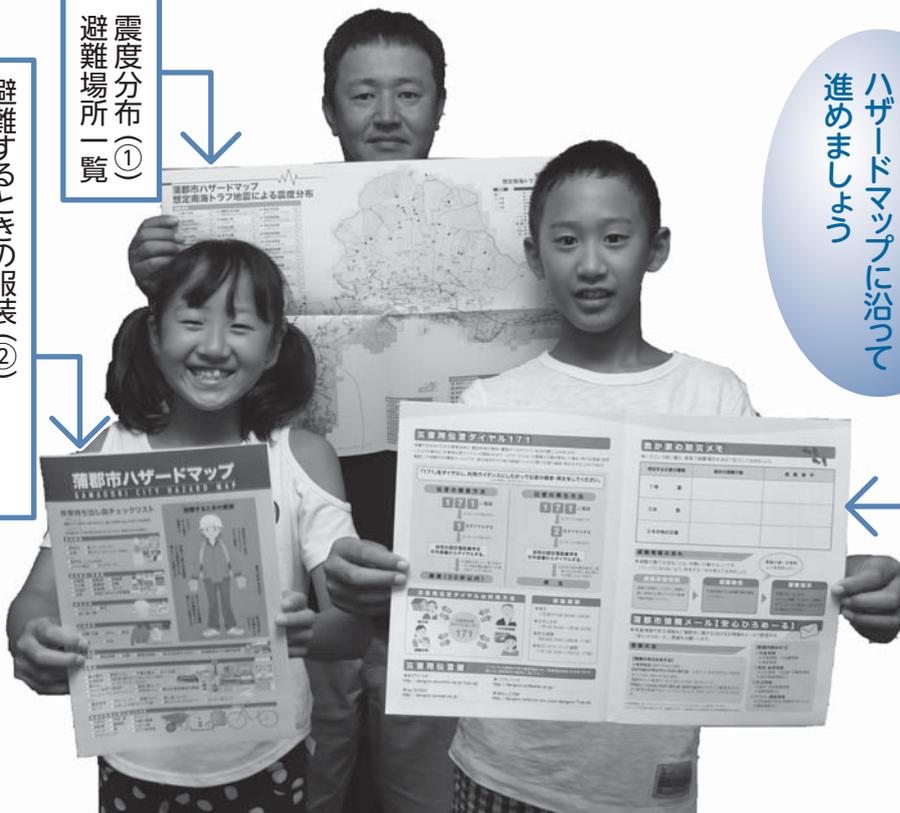
最新版のハザードマップには、平成26年5月に愛知県から発表された南海トラフ地震被害想定が反映されています。最新版は広報4月号と同時に全戸配布しました。お手元にはありません。市役所受付、防災課にあります。

家族防災会議はハザードマップに沿って進めましょう

我が家の防災メモ(①) 安心ひろめる(④) など

震度分布(①) 避難場所一覧

避難するときの服装(②) 非常持ち出し品チェックリスト(③)



まずはハザードマップがお手元にあるか確認を。地図が注目されがちですが、他にも大事な情報が詰まっています。

防災課 ☎66♦1208